

YAMAHA CONNECTION

Body

●重要なのはボディだ

いわば、ボディは音源。エレクトリックギターの色を決めるのはボディの材質であり、構造です。ヤマハのクラフツマンがギターづくりのもっともオーソドックスな手法、まずボディづくりを全神経をそそぐことからはじめるのは、このためです。

ソリッドギター ボディ材の性質がダイレクトに音色に出やすいソリッドギター。ヤマハのソリッドギターはシリーズごとに素材選定、ラミネート比率とも綿密にアプルー。構造的にも、理想的な完全ソリッドの削り出しボディを採用しています。とくに、長年の楽器づくりの伝統を踏まえたヤマハの高水準の木工技術は定評のあるところ。セミアコースティックギター ボディ構造全体のバランスで音色が左右されるセミアコ。現在、サウンドホールを持ちながら中芯をウッドブロックでたまためたセミソリッド的なボディが主流です。トップギタリスト絶賛のヤマハシリーズは、中芯ブロックに、固いメープル材とピアノの響板にも用いられる柔らかなスプルース材を組み合わせた独自のコンビネーションを採用しています。



フルアコースティックギター フルアコの場合、セミアコ以上にボディ構造全体のバランスが音色を左右します。新登場のAEシリーズでは、ひとつ

のスプルースブロックから内部響板とも一体削り出すカーブドスプルーストップ、一枚のスプルースを成型するアーチドスプルース甲板トップ、のふたつの手法がとられ、それぞれに特色をもった鳴りのいいボディを実現。また、響板の配置もフルアコのサウンドにとって重要な決め手となります。

●厳選されたヤマハのボディ材

メープル材 性質は固くタイトな音を生み、ソリッドソッキングモデルのボディトップ材に最適。ネック材としても広汎に用いられる代表的なマテリアルであり、ステージ映えの点でも申し分なし。

マホガニー材 性質は柔らかく、甘い粘りと艶のあるひかりを生みソリッドハンバッキングモデルのボディバック材に欠かせない。ネック材としても多用され、メープル材と並ぶ代表的な素材。

アルダー材 同じ柔らかな性質をもつマホガニー材の艶のあるひかりに対し、乾いたひかりを生み鮮やかなサウンド。フェンダー社のオールドモデルに使われた“互ののマテリアル”として有名なこの通好みのアルダー材を、ヤマハは独自のコンセプトのもとSF、SJ、SC、IB、SBの各シリーズに採用。

セン材 性質は柔らかくクリアですなおな音を生み、シングルポインピックアップと好マッチング。サウンドイメージにぴったりの木地の美しさも魅力。

スプルース材 性質はすこぶる柔らかく、立ちあがりが高く太い、ブロード感のある音色が特徴。グラウンドピアノの響板にも使われる高級マテリアルであり、その響きは限りなくアコースティック。

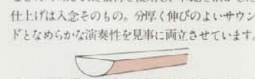
●**ネックの素材もサウンドを決める**
メープルネックはハンチのあるクリアな音が、マ

ホガニーネックは甘い粘りのある音が、魅力です。ヤマハはさらに、それぞれの持ち味を活かす驚異のワンピース構造をSG、SC、BBシリーズの最高級モデルに採用。弦振動エネルギーが閉れ目なく、理想的なループを描いてボディに伝わるため、サスティンの効いた密度の高いサウンドが得られます。



●**フィンガーボードも音を出す**
湿気に強くはげにくい、経年変化に強い素材を丹念に表面仕上げしたものが理想です。そして、材質の良い差しはもちろん、ネックと組み合わせたときの音の融合、バランスが重要なポイント。ヤマハのフィンガーボードはそれぞれの機種に合わせた、セミアコ、ストライプドエボニー、エボニーなどの吟味された素材を使用し、木地を活かした仕上げは念入りのもの。分厚く伸びのよいサウンドとならぬかな演奏性を見事に両立させています。

●**ピックアップも音を出す**
湿気に強くはげにくい、経年変化に強い素材を丹念に表面仕上げしたものが理想です。そして、材質の良い差しはもちろん、ネックと組み合わせたときの音の融合、バランスが重要なポイント。ヤマハのフィンガーボードはそれぞれの機種に合わせた、セミアコ、ストライプドエボニー、エボニーなどの吟味された素材を使用し、木地を活かした仕上げは念入りのもの。分厚く伸びのよいサウンドとならぬかな演奏性を見事に両立させています。



Pick-up

●ピックアップはエレクトリックギターの心臓

音量や高域・低域をコントロールすることでボディサウンドにより豊かなニュアンスを与え、最終的にサウンドを決定づけるのがピックアップの役割。構造の違いにより、シングルポインピックアップとハンバッキングピックアップの2つがあります。

シングルポインピックアップ ピックアップのボビン中央にポールピースがあり、その周りにコイルが巻かれた、コイルが1つだけのピックアップ。サウンドは中低域のすなおさと高音域のソリッドなシャープさが母上。ヤマハのシングルポインピックアップはJシリーズ、Cシリーズ、Rシリーズの3系統、それぞれにタッグを組むボタ社のマッチングがきめ細かに考慮された設計となっています。

ハンバッキングピックアップ シングルポインピックアップを直列につなぎ、磁極をマッチングさせることによりハムを打ち消すように設計されたピックアップ。高感度で磁界が広く、ピックアップ面積も広いため音をよく拾い伸びのあるサウンドが得られるというわけ。さらにハンバッキングピックアップはマイクカールの有無によってオープンタイプとカバータイプの2つに、オープンタイプはよりブライトで力強いハイパワーサウンドが、カ



バードタイプはメロウで甘さの中に歯切れよさを秘めたサウンドが武器。ヤマハのハンバッキングピックアップは独自の着磁方式をとるアルニコ合金製であり、しかもシリーズごとにコイルアレンジは異なり、世界に誇るGシリーズマイクを筆頭に、実に5系統のピックアップがエントリーしています。

●**ベース用にはダブルポールピースピックアップ**
ベース弦の強大な弦振動エネルギーを確実にピックアップするために考案されたのがこの方式。1本の弦に2個ずつのマグネットをバランスよく配置させピックアップ面積、磁界がともに広がり感度も一段とアップ。低音域はもちろ中高音域にかけても豊か伸びのあるサウンドがカムアウトされ、サスティンの効いたサウンドにも強味を発揮します。

●**ブリッジでギター遊びをするギタリストもいる**
弦振動を最終的にボディへ伝えるブリッジは、音の伸びやピッチを左右する重要なパーツです。剛性の高いものは音伸びがよくナチュラルなサス

ティンも得やすくなります。フルアコを除きヤマハのブリッジは、すべてボディにダイレクトマウント。素材もベヴィデュエティなダイキャストや削り出しのスチールが用いられ、弦振動エネルギーはマキシマムでボディへ、構造的にも各機種の特性に合わせ、より微かな弦高調整やオクターブコントロールが可能なタイプを採用しています。

●**ストップテールピースVSトラビーステールピース**
ストップテールピースの最大の利点は、弦高を変えることによりテンション(弦の張力)もコントロールできること。弦高を低くしてテンションを強めるとチョーキングもスムーズになりサスティンも得やすくなります。弦高を上げるとテンションが弱まるからベヴィゲージ派には最適です。そして、プランコ型のトラビーステールピースはフルアコサウンドの独特の余韻を生むために不可欠です。

●**パーフェクトチューニングこそサウンドの極致**
スルーテックも正確な音程がなければもはやアウト。この音程を調節するのがチューニングマシン。糸巻です。強大な張力にもピクとせず、微調整も思いのまま、スムーズにパーフェクトチューニングを保証してくれるものを求めています。その点ヤマハのオリジナル糸巻の性能と信頼性は、内外のプロミュージシャンから着実な評価を獲得。

●**ベース用にはダブルポールピースピックアップ**
ベース弦の強大な弦振動エネルギーを確実にピックアップするために考案されたのがこの方式。1本の弦に2個ずつのマグネットをバランスよく配置させピックアップ面積、磁界がともに広がり感度も一段とアップ。低音域はもちろ中高音域にかけても豊か伸びのあるサウンドがカムアウトされ、サスティンの効いたサウンドにも強味を発揮します。

●**ブリッジでギター遊びをするギタリストもいる**
弦振動を最終的にボディへ伝えるブリッジは、音の伸びやピッチを左右する重要なパーツです。剛性の高いものは音伸びがよくナチュラルなサス

ティンも得やすくなります。フルアコを除きヤマハのブリッジは、すべてボディにダイレクトマウント。素材もベヴィデュエティなダイキャストや削り出しのスチールが用いられ、弦振動エネルギーはマキシマムでボディへ、構造的にも各機種の特性に合わせ、より微かな弦高調整やオクターブコントロールが可能なタイプを採用しています。

●**ストップテールピースVSトラビーステールピース**
ストップテールピースの最大の利点は、弦高を変えることによりテンション(弦の張力)もコントロールできること。弦高を低くしてテンションを強めるとチョーキングもスムーズになりサスティンも得やすくなります。弦高を上げるとテンションが弱まるからベヴィゲージ派には最適です。そして、プランコ型のトラビーステールピースはフルアコサウンドの独特の余韻を生むために不可欠です。

●**パーフェクトチューニングこそサウンドの極致**
スルーテックも正確な音程がなければもはやアウト。この音程を調節するのがチューニングマシン。糸巻です。強大な張力にもピクとせず、微調整も思いのまま、スムーズにパーフェクトチューニングを保証してくれるものを求めています。その点ヤマハのオリジナル糸巻の性能と信頼性は、内外のプロミュージシャンから着実な評価を獲得。

●**ベース用にはダブルポールピースピックアップ**
ベース弦の強大な弦振動エネルギーを確実にピックアップするために考案されたのがこの方式。1本の弦に2個ずつのマグネットをバランスよく配置させピックアップ面積、磁界がともに広がり感度も一段とアップ。低音域はもちろ中高音域にかけても豊か伸びのあるサウンドがカムアウトされ、サスティンの効いたサウンドにも強味を発揮します。

●**ブリッジでギター遊びをするギタリストもいる**
弦振動を最終的にボディへ伝えるブリッジは、音の伸びやピッチを左右する重要なパーツです。剛性の高いものは音伸びがよくナチュラルなサス

ティンも得やすくなります。フルアコを除きヤマハのブリッジは、すべてボディにダイレクトマウント。素材もベヴィデュエティなダイキャストや削り出しのスチールが用いられ、弦振動エネルギーはマキシマムでボディへ、構造的にも各機種の特性に合わせ、より微かな弦高調整やオクターブコントロールが可能なタイプを採用しています。

●**ストップテールピースVSトラビーステールピース**
ストップテールピースの最大の利点は、弦高を変えることによりテンション(弦の張力)もコントロールできること。弦高を低くしてテンションを強めるとチョーキングもスムーズになりサスティンも得やすくなります。弦高を上げるとテンションが弱まるからベヴィゲージ派には最適です。そして、プランコ型のトラビーステールピースはフルアコサウンドの独特の余韻を生むために不可欠です。

●**パーフェクトチューニングこそサウンドの極致**
スルーテックも正確な音程がなければもはやアウト。この音程を調節するのがチューニングマシン。糸巻です。強大な張力にもピクとせず、微調整も思いのまま、スムーズにパーフェクトチューニングを保証してくれるものを求めています。その点ヤマハのオリジナル糸巻の性能と信頼性は、内外のプロミュージシャンから着実な評価を獲得。

●**ベース用にはダブルポールピースピックアップ**
ベース弦の強大な弦振動エネルギーを確実にピックアップするために考案されたのがこの方式。1本の弦に2個ずつのマグネットをバランスよく配置させピックアップ面積、磁界がともに広がり感度も一段とアップ。低音域はもちろ中高音域にかけても豊か伸びのあるサウンドがカムアウトされ、サスティンの効いたサウンドにも強味を発揮します。

